

2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

※ホームページではすでに事業の再整理についてご報告していますが、定款変更については2022年度を予定していることから、定款に基づく事業名で記載させていただいております。

●**学習支援事業**：これまで継続してきた児童養護施設・母子生活支援施設向けの学習支援を今年も実施しました。学習が定着してきた施設では先取り学習を開始する事例や、進路に良い影響を及ぼす事例も見られ、成果を感じる機会が増えています。

この直接支援で培ってきたノウハウを少しでも多くの子どもたちに活用してもらうために、全国の児童福祉施設や行政機関向けの研修を実施しました。短い周知期間にも関わらず、全国から55名の施設職員や行政職員の方々にご参加いただき、全国の子ども支援の現場で、学習支援のノウハウが不足していることを痛感しました。

また、教材開発については、特につまずきの多い小学校2,3年生レベルの算数の補助教材と、施設からのニーズが多い小学校英語の基礎教材（文法）を作成しました。支援現場で教材を活用しながら、大人にとって負担が少なく、子どもにとっては継続しやすい教材となるように、今後も開発、修正を継続して行っています。

●**子どもの権利保障推進事業①Mex（ミークス）**：オンラインでの取り組みであるMexでは、引き続き頼れる大人が身近にいない子どもたちのニーズを分析しながら、ニーズに合ったよみもの、動画などのコンテンツ作成や発信を行いました。2021年度は延べ200万人近い利用者となり、コロナ禍ということも相まって、オンラインでの子ども支援の在り方の模索が急務であることを痛感しています。コロナ禍でニーズが高まっている、放課後などに行ける居場所や、虐待、いじめ、性被害などの相談窓口、就労支援の窓口などを、チャットで相談できる窓口を中心にリサーチし、新しく307件掲載しました。2021年度の掲載サービス数は延べ756サービスとなり、うち認定サービスは延べ43サービスとなりました。また、2016年にサイトをオープンしてから丸5年になるため、子どもたちの利用状況を分析しながらサイトのリニューアルに向けた準備も行いました。リニューアルは2022年度を予定しています。

●**子どもの権利保障推進事業②ユースセンター「3」**：これまで権利保障についてはオンラインでの取り組みが主たるものでしたが、オフラインでの取り組みであるユースセンターを5月に立ち上げました。水曜日を除いて毎日9:30（土日は8:30）から21:30まで運営しました。新型コロナウイルスの影響でスタッフ数が不足し数日のみ休館になることもありましたが、おおむね問題なく運営することができました。年間186名が登録、延べ1129名が利用し、ほとんどの子どもたちが1日1回以上の食事を利用、シャワーや洗濯、昼寝などで利用するケースも多く見られました。家や学校以外に子どもたちが安心できる居場所が少なく、最低限の生活が家庭の機能だけでは保障できないことを痛感した1年でした。これまで行政の子育て支援の多くは小学生以下に集中しており、中学生以上は学習支援や就労支援など、目的を持った支援が中心となっています。一方で、貧困、虐待、ヤングケアラー、ひとり親家庭などの理由で家庭が十分に機能していない場合、中学生以上でも、衣食住といった生きるために最低限必要な環境が不足していることがあります。私たちのユースセンターは、この不足している支援を補うべく、心身の成長も著しく精神的な安定が非常に大事な10代が、目的を持たなくても安心して過ごせる居場所として、家とパブリックの中間的な場所のモデルになることを目指しています。関係機関向けの内覧会を実施しましたが、度重なる緊急事態宣言により十分には実施できず、2022年度以降、関係機関への周知をより強化します。

●**啓発活動事業**：コロナの影響の長期化を踏まえ、昨年度に引き続き主にオンラインでの啓発に力を入れました。子どもの事件などが報じられた際に、3keysのホームページへのアクセスが増えることから、サイトに子どもの現状を正しく伝えられるWeb版子ども白書「日本の子どもたちの今」の機能を追加、今年度は11本の記事を公開しました。Googleなどで「虐待」「貧困」「いじめ 不登校」といった言葉を検索すると、3keysのホームページの「日本の子どもたちの今」が検索結果の上位に出てくるようになってきています。ワイドショー的な報道ではなく、より正しく子どもたちを取り巻く現状を知っていただける仕組みになりました。今後も継続して、なかなか見えづらい子どもたちの現状を啓発していきます。またユースセンターの設立に合わせて、3keysの価値観、取り組みを分かりやすく伝えられるよう、約3年ぶりにサイトのリニューアルを行いました。子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」は、どんな状況に置かれている子どもにも伝わりやすいよう、

様々な色・体型を持つキャラクターへとリデザインを行いました。マイノリティや多様性へも配慮し、専門家の監修を経て、マイクロアグレッションのない動画になりました。さらに、これまでの「家族・親戚編」「恋人・パートナー編」「いじめ編」に加え、「バイト編」「性被害編」を新しくリリースし、ブラックバイトやパワハラ、セクハラ、性被害などを正しく知ってもらえるようになりました。

また、2021年度に実施した、「24時間子供 SOS ダイアル」の全国の実態調査の追加調査・啓発も行いました。「24時間子供 SOS ダイアル」は Mex の中で子どもたちの利用が多いものですが、子どもの声から、行政が広報・啓発している内容と実態に乖離がある可能性が判明し、全国調査に踏み切りました。全都道府県及び指定都市教育委員会 67 窓口に質問票を郵送し、54 か所から回答（内、有効回答数 52）を得たことで、全国で実態にばらつきがあることが分かりました。今後も子どもたちの声なき声をもとに、各種調査・啓発を継続していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【117,585】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子どもたちに必要な社会資源をコーディネートし子どもたちの自立及び権利保障を充実させる事業（通称：子どもの権利保障推進事業 vine)	<p>1. 10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」</p> <p>頼れる大人が周りにいない子どもたちは、トラブルに巻き込まれたり、深刻な状態で発見されたりすることも少なくありません。3keys では、虐待・いじめ・自殺・こころの問題など、深刻な悩みを抱えながらも誰にも相談できずにインターネットに駆け込んだ子どもたちが、安心して頼れる大人や支援団体とつながることができるよう、大人でも分かりづらい行政や NPO などの支援機関の情報を、子どもひとりでも違いを比較し、相談できるようなサイト作りを目指しています。</p> <p>また、様々な専門家の方の監修を経ながら、子どもたちがよくひとりで悩む内容について、解決やヒントになるようなよみものや動画もサイト内で配信しています。</p>	1. 通年（24 時間）	1. 全国・原則国内	1. 15 名（非常勤、業務委託、他部門との兼務含む）	1. 主に 10 代以下	1. 年に 1 回以上利用した人数 1,957,634 名	97,701
	<p>2. ユースセンター「3（さん）」</p> <p>子どもたちにとって、生活の中で一つは必ず「安らぐ場所」が必要です。多くの場合は、それぞれの家はその役割を果たすとされているでしょう。しかし、日本の住宅事情の中で、子ども一人ひとりのパーソナルスペースを用意できているのは、ゆとりのある一部の家庭のみ。家族といえども近過ぎる距離で思春期を過ごす中で、家族と距離を取れるのは、目の前にあるスマホの中の SNS やネット、商業的な場しかないのが現状です。</p> <p>さらに深刻な場合は、家庭内で暴力を受けていたり、罵声や面前 DV の被害が日常的にあったり、兄弟姉妹と明らかな差別を受けていたり、虐待やマルトリートメント（不適切養育）の環境にさらされている子どもたちは、日常的に安らぐ場所が奪われてしまっています。</p> <p>「施設のような場ではなく、どちらかという家にいるような感覚で過ごせる場所」「くつろいだり、目的を持たなくても、居心地が悪くない場所」「評価されたり、何かを強要されたりせず、自分が好きなことをして過ごせる場所」「子どもたちにとって安全で、静的な（非交流型）のサードプレイスとなること」それがユースセンター「3（さん）」が目指す場所です。</p>	2. 通年（2021 年 5 月 11 日オープン） 運営日時：月・火・木・金 9:30～21:30 土・日 8:30～21:30（上記曜日は祝日も運営） ※定休日：水曜日、12/31、1/1	2. 東京都新宿区	2. 管理スタッフ 10 名（非常勤、業務委託、他部門との兼務含む）、現場スタッフ 15 名	2. 18 歳になる年度末まで（高校在学中の方は 20 歳になる年度末まで）・対象のエリア制限なし	2. 登録者 186 名（延べ利用 1129 回）	

<p>格差の下にいる子どもたちをはじめとする、学習機会や学習環境に恵まれない子どもたちのために、学習指導を行うボランティアを育成し、マッチングする事業（通称：学習支援事業）</p>	<p>1. 児童福祉施設向け「教室型プログラム」 虐待などの家庭環境で育った子どもたちの多くは、読み書き計算などの基本的な学習基盤が整っていないことが多く、小学校低学年から学習の遅れが顕著になるケースが見受けられます。3keys では、主に児童養護施設と連携し、小学生の補習教室の運営や運営支援・教材支援などを行い、早期から子どもたちの学習をサポートできる環境作りをしています。</p> <p>2. 教材作り 3keys は 10 年以上、虐待で保護された子どもたちへの学習支援を行ってきました。その中で、十分な学習環境や習慣がなかった子どもたちには、市販や学習塾などで作られている教材は合わないことが多く、支援の中で独自教材を制作する機会が多くありました。子どもたちの学力や意欲だけでなく、生活習慣や、周りの大人がどれくらいサポートできるかなどを総合的に踏まえた教材作りを行っています。</p> <p>3. 学習支援の研修 3keys は 10 年以上、虐待で保護された子どもたちへの学習支援を行ってきました。そのノウハウを、研修という形で全国の児童養護施設、母子生活支援施設、児童相談所、行政の学習支援担当、NPO などに向けて届けています。これまで全国の施設職員・行政担当者など 200 名以上に研修を実施してきました。</p>	<p>1. 通年</p> <p>2. 通年</p> <p>3. 2022 年 3 月 8 日</p>	<p>1 . 東京都・神奈川県</p> <p>2 . 東京都</p> <p>3. 全国・原則国内</p>	<p>4 名（非常勤、業務委託、他部門との兼務含む）</p>	<p>1. 2 児童養護施設および母子生活支援施設に入所中の主に小学生（一部中高生）</p> <p>3. 全国の児童養護施設職員、児童相談所職員、行政の学習支援担当者等</p>	<p>1. 2 64 名(4 施設)</p> <p>3. 55 名</p>	<p>6,279</p>
<p>日本の子どもたちの現状や、それを取り巻く社会の現状を広域的に周知するための、啓発活動及び広報活動（通称：啓発活動事業）</p>	<p>1. 白書「日本の子どもたちの今」 児童虐待、いじめによる自殺、教員や保育士による体罰や性暴力、子どもの貧困や格差など、いつから日本が子どもたちにとって不幸せな国になったのか、信じられないようなニュースを目にする機会が増えました。しかし、それらはどれも誇張ではなく、本当に日本で起きている事柄です。社会が複雑化している一方で、子どもを見守り育てる大人は親・教員に限定され、子どもたちが必要とする様々な形の愛情を受けづらい時代になりました。</p> <p>事件がある度に、私たちのもとにはたくさんのメディアや、個人の方から問い合わせが寄せられます。しかし、事件が去るとまた日常が戻り、子どもたちに関心を寄せる存在が減っていきます。</p> <p>私たちは、何らかの形で子どもたちに関心をもち続けて欲しいと願っています。そのために、私たちの HP に訪れた時に、正しく子どもたちの現状を知ってもらい、大人たちが日々できることを少しでもたくさん実践して欲しいと思い、複雑化している子どもたちの現状を正しく伝えるための「白書-日本の子どもたちの今」をサイト内に作りました。子どもたちを見守る大人の一人として、ぜひ子どもたちの今を正しく知っていただけたら嬉しいです。</p> <p>2021 年度公開記事 <虐待> ・そもそも虐待とは？～知っておきたい「コトバ」の定義と課題 ・日本で虐待ってどれくらいあるの？～「虐待死」は統計の 3 倍以上ある可能性も ・誰が、どんな虐待をしている？～顕在化する「面前 DV」と心理的虐待 ・虐待が子どもに及ぼす影響とは？～「健全な成長」を奪われるハンディキャップ ・虐待って誰が発見している？～児童相談所、市区町村、警察の役割の違い</p>	<p>1. 通年(2021 年 5 月 18 日～)</p>	<p>全国・国内外制限なし</p>	<p>5 名</p>	<p>制限なし（主に大人）</p>	<p>1. 55,173 名</p>	<p>13,604</p>

<p>・虐待発覚後、子どもはどうなるの？～「保護」されても安心できない実情</p> <p><いじめ・不登校> ・不登校やいじめの数って？～文部科学省の資料では見えない現状 ・教員の多忙化の現状とは？～子どもに寄り添うのは難しい？ ・スクールカウンセラーとは？～増加する教員以外の専門家の役割と現状 ・外国人の子どもは学校に行けてない？～2万人が不就学の可能性</p> <p><貧困・教育> ・子どもの貧困の定義とは？年収いくらくらいを指すの？～貧困の子どもは日本に255万人(7人に1人)</p> <p><自殺> ・日本の子どもたちは幸せなのか？～子どもの自殺の現状から見える実態</p> <p>2. 研修・「Child Issue Seminar」の開催 3keys では、子どもたちの支援だけでなく、日本の子どもたちを取り巻く環境の周知・改善を目的としたセミナーを大人向けに主催し、理解者や支援者を増やすための啓発活動を行っています。2013年度から開始した連続セミナー「Child Issue Seminar」では、社会的に話題になっていることや、ぜひ知って欲しいテーマを取り上げています。 子ども支援に普段関わっていない主に一般の方向けの会と、子どもに既に関わっている支援機関・行政関係者を主たる参加者とした会があります。</p> <p>3. 執筆・講演・メディアでの啓発 3keysでは、子どもたちの現状をより多くの方々に伝え、一人ひとりができることを実践するために、講演や執筆などを積極的に行っております。イベントや勉強会などの講師としてお呼びいただくことで、3keys だけではアプローチできない方々に子どもたちの現状を伝えることができます。</p> <p>2021年度実績 ・メディア掲載回数:17回 ・ラジオ:1回(FMヨコハマ) ・ネット配信番組:1回(ニュースオブエド) ・Web記事:5回(NHKワールド、朝日新聞等) ・雑誌・書籍:8回(新潮社、岩波書店、パルシステム、ほるぷ出版、NTT労働組合、鈴木出版等) ・その他:Webコンテンツ、アプリ2回(Yahoo! きっず 等)</p> <p>講演回数:9回 講演先一覧:東京四谷ロータリークラブ、NPO 法人しあわせなみだ、公益財団法人社会貢献支援財団、一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会、特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、徳島県男女参画・人権課、花王株式会社、日本スタンフォード協会(JSA)</p> <p>4. その他 ①文部科学省が運営する「24時間子供SOSダイヤル」の全国調査を実施・レポート報告 ②ミーのなやみ:全シリーズのキャラクターリデザイン及び、バイト編(8本)、性被害編(4本)</p>	<p>2.コロナ感染拡大防止のため、実施見送り</p> <p>3. 通年</p> <p>4. ①2021年6月19日 実態調査報告 ②2022年3月</p>			<p>2. 実施なし</p> <p>3. 528人 (講演参加者数のみ)</p> <p>4. ①全都道府県及び指定都市教育委</p>	
--	---	--	--	---	--

	の新規公開	23 日リニューアル・新規シリーズ公開				員会 67 か所に 郵送し、 54 が回 答(内、 有効回 答数 52)	
						②ミーの なやみ の年度 内再生 回数 44,771 回	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)